
研 究 所
ご 案 内
2024

**Wakayama Institute for
Social & Economic Development**



一般財団法人
和歌山社会経済研究所

CONTENTS

目 次

P.02	I 運営方針・組織概要
P.02	1. ごあいさつ
P.03	2. 研究所概要
P.03	3. 事業内容
P.04	4. 組織と機構
P.04	5. 役員等
P.05	6. 基本財産出捐者
P.05	7. 連携する企業等
P.06	8. 運営方針
P.08	II 2023年度 事業報告
P.10	1. 公益事業
P.18	2. 受託事業
P.26	III 2023年度 会議等への出席状況
P.28	IV その他トピックス
P.29	V これまで(2010年度～2023年度)の受託事業一覧
P.34	VI 研究スタッフ等 紹介
P.36	VII 相談窓口のご案内

I 運営方針・組織概要

1.ごあいさつ

一般財団法人和歌山社会経済研究所は、1981年9月に財団法人和歌山社会経済研究所として、和歌山県をはじめ県内市町村、民間企業等の出捐により設立(2013年4月に「一般財団法人」へ移行)し、約40年の長きにわたり、行政・関係団体・企業・賛助会員のご協力とご支援をいただきながら、和歌山県唯一の総合シンクタンクとして、地域に密着し、諸課題の解決に積極的に取り組んで参りました。

2023年度においては、県内自治体様を中心に様々な分野の調査分析、計画策定支援等を受託させていただくとともに、わかやま移住定住支援センターの運営を通じて県内への移住・定住促進に向けた取り組みを実施いたしました。

また、自主研究事業としては、当研究所の知見を高めるべく「デジタル田園都市国家構想」や「脱炭素社会」、「移住・定住促進」等に関する研究のほか国土交通省の補助事業である「令和5年度空き家対策モデル事業」に取り組みました。

当研究所は、これからも賛助会員をはじめ関係諸団体との連携を図り、地方自治体や地域の皆様とともに考え行動し、産業経済の振興と地域社会の発展に寄与すべく努力を重ねる所存でございますので、引き続きご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

地域によりそう。

2. 研究所概要

名 称	一般財団法人 和歌山社会経済研究所
英 訳 名	WISE(Wakayama Institute for Social & Economic Development)
理 事 長	原口 裕之
出 捐 金	7億円(出捐者:和歌山県と市町村、民間企業等)
設 立	1981年9月25日(2013年4月1日一般財団法人へ移行)
所 在 地	〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地フォルテワジマ6階
電 話	(073)432-1444 F A X (073)424-5350
U R L	http://www.wsk.or.jp
機 関	理事:10名 監事:2名 評議員:8名 顧問:2名 研究委員:22名
職 員	19名
賛助会員	195名

[2024年4月1日現在]

3. 事業内容

公益事業

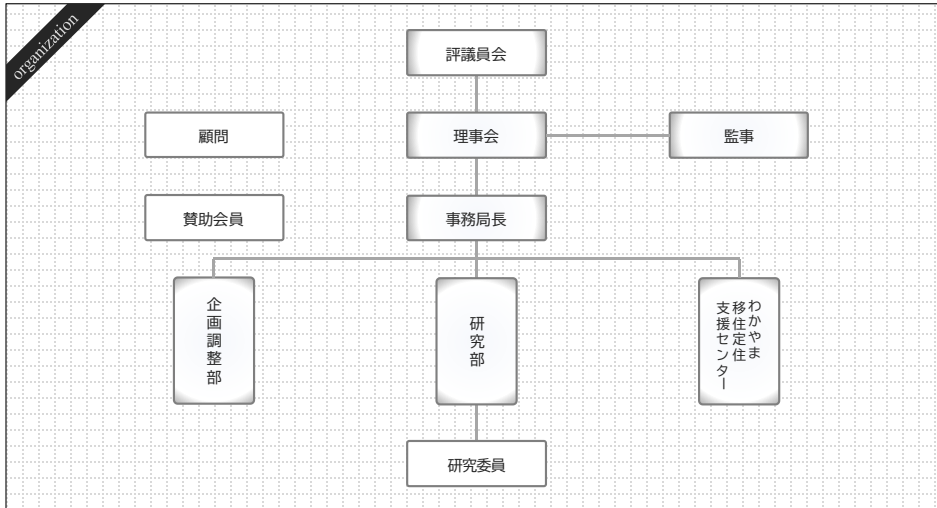
- 自主研究事業〔社会・経済等に関する課題をテーマとした研究〕
- 和歌山県景気動向調査〔年4回、四半期毎〕
- 機関誌「21世紀WAKAYAMA」の発行〔年3回〕
- 講演会の開催

受託事業

- 各種調査分析〔観光・農業・医療・福祉・経済効果等〕
- 各種計画策定支援
- その他コンサルティング
- わかやま移住定住支援センターの運営

4.組織と機構

[2024年4月1日現在]



5.役員等

[2024年6月18日現在]

役員

役名	氏名	主な役職
理事(理事長)	原口 裕之	株式会社紀陽銀行取締役頭取(代表取締役)
理事(副理事長)	中越 典秀	常勤理事
理事(専務理事)	谷口 恵美	常勤理事
理事(常務理事)	増田 浩	常勤理事
理事	北村 香	和歌山県企画部企画政策局長
理事	建畠 克佳	和歌山市市長公室長
理事	次本 圭吾	和歌山県農業協同組合中央会代表理事会長
理事	辻本 勝久	国立大学法人和歌山大学経済学部教授
理事	坂本 透	花王株式会社SCM部門製造統括センター和歌山工場工場長
理事	家永 裕章	日本製鉄株式会社関西製鉄所総務部和歌山庶務室室長
監事	笹本 昌克	株式会社湊組代表取締役社長
監事	杉本 吉史	南海電気鉄道株式会社和歌山事務所所長

評議員

役名	氏名	主な役職
評議員	柏原 康文	株式会社テレビ和歌山代表取締役会長
評議員	酒徳 俊夫	関西電力株式会社理事和歌山支社長
評議員	木下 卓夫	株式会社紀陽銀行執行役員経営企画部長兼関連事業室長
評議員	島 三博	株式会社島精機製作所代表取締役社長執行役員営業本部長 兼島精機(香港)有限公司CEO、内部監査室、サステナビリティ推進室担当
評議員	竹田 純久	セイカ株式会社代表取締役会長
評議員	田中 一壽	和歌山商工会議所専務理事
評議員	細江 美則	太洋テクノレックス株式会社代表取締役社長
評議員	前 昌治	和歌山県企画部長

[*]主な役職=選出母体の役職

6.基本財産出捐者

[2024年4月1日現在]

㈱浅川組	日本製鉄㈱〔住友金属工業㈱〕
㈱池田泉州銀行〔㈱泉州銀行〕	富士化学工業㈱
ENEOS㈱〔東亜燃料工業㈱〕	本州化学工業㈱
ENEOS和歌山石油精製㈱〔富士興産㈱〕	㈱みずほ銀行〔㈱第一勧業銀行〕
㈱オークワ〔㈱チェーンストアオークワ〕	三井住友信託銀行㈱〔住友信託銀行㈱〕
花王㈱〔花王石鹼㈱〕	㈱三井住友銀行〔㈱住友銀行、㈱三井銀行〕
関西電力送配電㈱〔関西電力㈱〕	三菱電機㈱
㈱関西みらい銀行〔㈱近畿相互銀行、㈱幸福相互銀行〕	㈱三菱UFJ銀行〔㈱三和銀行〕
紀州林業懇話会	三菱UFJ信託銀行㈱〔東洋信託銀行㈱〕
㈱紀陽銀行	湊組グループ
紀和化学工業㈱	㈱りそな銀行〔㈱協和銀行〕
コスモ石油ルブリカンツ㈱〔丸善石油㈱〕	和歌山県
小西化学工業㈱	和歌山県9市
スガイ化学工業㈱	和歌山県21町村
㈱世界一統	和歌山県漁業協同組合連合会
全国漁業信用基金協会〔和歌山県漁業信用基金協会〕	和歌山県商工会議所連合会
全国漁業共済組合連合会〔和歌山県漁業共済組合〕	和歌山県信用金庫協会
㈱三十三銀行〔㈱第三銀行〕	和歌山県森林組合連合会
㈱テレビ和歌山	和歌山県中小企業団体中央会
なぎさ信用漁業協同組合連合会	和歌山県農業協同組合中央会
〔和歌山県信用漁業協同組合連合会〕	和歌山県木材協同組合連合会
南海電気鉄道㈱	和歌山精化工業㈱
㈱南都銀行	㈱和歌山放送
日本漁船保険組合〔和歌山県漁船保険組合〕	

注：五十音順、〔 〕内は出捐当時の名称

7.連携する企業等

企業名	連携内容
株式会社紀陽銀行	和歌山県への移住促進に関する連携
紀陽情報システム株式会社	和歌山県内地方自治体のDX推進に関する連携
株式会社ロカリスト	和歌山県への移住促進に関する連携
明治安田生命保険相互会社	地方創生に関する連携
一般社団法人 わかやま地域おこし協力隊ネットワーク	和歌山県への移住定住推進に関する連携

8.運営方針

一般財団法人和歌山社会経済研究所は、「和歌山県唯一の総合シンクタンクとして地域にとって必要な存在であり続ける」ことを“あるべき姿”として定め、基本理念に沿って、地域に根ざし、行動する、開かれたシンクタンクを目指しています。

また、2022年10月には「SDGs基本方針」を制定し、シンクタンク活動を通じて地域社会のSDGs達成に貢献することを目標に活動しています。

基本理念

和歌山県唯一の総合シンクタンクとして
地域にとって必要な存在であり続ける

1

地域に根ざしたシンクタンク

私たちは、和歌山県および県内市町村、民間企業等の出捐により設立された和歌山県唯一のシンクタンクです。研究員をはじめ役職員は和歌山県の企業・行政機関の職員等で構成されており、和歌山に対する想いは誰よりも強く、和歌山を一番よく知っているシンクタンクです。

2

行動するシンクタンク

私たちは、前例にとらわれることなく、高い志と情熱をもって、あるべき社会の実現に向け挑戦します。常に「お客様のための最善」を追求し、これまでに蓄積した知見と創造力を融合させることで、期待をこえる付加価値の提供に努めます。

3

開かれたシンクタンク

私たちは、地域の発展を願い、各界のプロフェッショナルが集結し活動するシンクタンクです。多彩なメンバーからなる知の結束により、魅力ある知的集団を形成するとともに、お客様との対話を重視し、内外のネットワークを最大限に活用することで、新たな価値を創造し還元します。

SDGs宣言

私たちはシンクタンク活動を通じ、地域社会のSDGs達成に貢献するとともに地域社会から必要とされるシンクタンクであり続けることを目指します。



各種計画策定や調査・分析業務等を通じ、地域社会（行政機関・民間企業）のSDGs達成に向けた取り組みを支援します。



調査・研究事業から導き出した有益な情報を発信し、地域社会（行政機関・民間企業）のSDGs達成に貢献します。



専門知識の蓄積やスキルの向上に努め、地域社会から必要とされる研究所づくりに取り組みます。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

Ⅱ 2023年度 事業報告

公益事業

政策研究(和歌山県庁との連携による政策課題に関する調査研究)

- 若者の和歌山県への移住・定住促進策に関する研究
- 車中泊を活用した観光振興策研究
- 循環型社会形成における中小企業のプラスチックゴミ削減への取り組み
- スマート農業の促進に関する研究
- 「デジタル田園都市国家構想」の研究
- 地域公共交通の維持に向けたDXに関する研究
- 自治体DX推進に関する研究

個人研究(社会・経済等に関する課題をテーマとした自主研究)

- サステナビリティ経営を通しての企業と人の活性化
- 地球温暖化による農産物への影響
- 自治体非公認キャラクターによる地域おこしの研究
- 画像生成系AIを用いた「川合小梅」の肖像画作成の研究
- ワークেশョンの可能性
- 研究報告・企画提案・広告媒体における伝わるデザインと見せ方について
- 中小企業が環境配慮経営を進めるにあたって必要なこと
- 共同研究(和歌山地域経済研究機構共同研究)
「移動革命」を活用した持続可能な和歌山市公共交通体系に関する研究

地方シンクタンク協議会機関誌編集委員会への参加

和歌山県景気動向調査

機関誌「21世紀WAKAYAMA」の発行

講演会の開催

令和5年度空き家対策モデル事業【国土交通省補助事業】

受託事業

各種調査・分析

- 令和5年度二地域居住等推進に関する調査業務【和歌山県】
- 令和5年度和歌山県医療機能調査及び保健医療に関する県民意識調査業務【和歌山県】
- 和歌山市景況動向調査業務【和歌山市】
- 串本町議会議員定数に関する町民アンケート調査業務【串本町】
- 令和5年度「くどやま芸術祭2023」経済効果調査委託業務【九度山町まちなか活性化協議会】
- 観光客動態調査分析業務【一般社団法人 高野山麓ツーリズムビューロー】
- 「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」調査業務【ルネッサンスキャピタル 株式会社】
- 「oomiya presents TGC WAKAYAMA 2024」開催に伴う経済波及効果測定業務【株式会社WTOKYO】

各種計画策定支援

- 健康海南21(第3次健康増進計画)策定支援業務【海南市】
- 第3次健康きみの21(紀美野町健康増進計画)策定業務【紀美野町】
- 第3期きみのこどもプラン-紀美野町子ども・子育て支援事業計画-策定支援業務【紀美野町】
- 人・農地プラン実質化に関する業務及び印南町農業振興地域整備計画改定に係る支援業務【印南町】
- みなべ町BCP(業務継続計画)訓練・検証支援業務【みなべ町】
- 上富田町人口ビジョン策定支援業務【上富田町】
- 第二次白浜町男女共同参画基本計画策定業務【白浜町】
- 令和5年度総合戦略評価・検証及び実施計画改訂支援業務【串本町】
- 令和5年度太地町総合戦略評価・検証支援業務【太地町】

その他コンサルティング等

- 移住者インタビュー記事作成および発信業務【和歌山県】
- 令和5年度無人航空機を活用した防災・減災対策に係るガイドライン作成業務【和歌山県】
- 旧古沢小学校周辺整備基本構想策定委託業務【九度山町】
- 地域活性化事業支援【株式会社 紀陽銀行】
- 経済情報企画編集【株式会社 紀陽銀行】
- 紀陽サステナブルファイナンスのセカンドオピニオン提供及び検証業務【株式会社 紀陽銀行】
- わかやま移住定住支援センター運営業務【和歌山県】

1. 公益事業

自主研究事業

政策研究(和歌山県庁との連携による政策課題に対する調査研究)

若者の和歌山県への移住・定住促進策に関する研究

和歌山県では、2013年から2022年までの年間平均ベースの県外転出超過数が3,000人を超え、中でも15歳から39歳までの年間平均県外転出超過数が県全体の数を上回っていることから若年層の県内定着と県外からの移住の促進が喫緊の課題となっています。そこで本研究では、和歌山県内外に居住している若者(18歳～39歳)が和歌山県に移住・定住する又はUターンするという意思決定を行うにはどうすればよいかということを探るため、和歌山県内外の若年層(18歳～39歳)を対象に地域生活における満足感(Well-Being)を加味したアンケートを実施し、現状と課題を分析しました。また、関係人口と地域との継続的なつながりづくりに関連して調べた館山市と北九州市の事例も参考とし、若者の移住・定住促進策について和歌山県及び県内市町村に対する提言をまとめました。

車中泊を活用した観光振興策研究

コロナ禍以降、キャンプを主としたアウトドアブームが続いています。その中で、キャンピングカーや車中泊ファンが利用するRVパーク(一般社団法人日本RV協会認定)に焦点をあて、現在のRVパークを取り巻く状況、その可能性や周辺地域にもたらす経済効果などを調査し、旧学校跡地等の有効活用の事例を交えながら観光振興策としての方向性を研究しました。

循環型社会形成における中小企業のプラスチックゴミ削減への取り組み

SDGs目標達成が2030年に迫る中、和歌山県も循環型社会の形成を目指しており、実現の為には、行政、企業、住民がそれぞれの立場でプラスチック廃棄物の排出抑制と適正な循環的利用を、一層推し進めなければなりません。しかしながら、和歌山県は全国に比べ一人当たりのごみの排出量が多く、リサイクル率が低いといった課題を抱えています。中でもプラスチックゴミは、焼却処分時に発生するCO₂による気候変動や海洋流出した際のマイクロプラスチック化による生態系への影響など、地球規模での環境への影響が懸念されています。本研究では、プラスチックリサイクル、プラスチック削減の現状を整理し、県内及び国内の中小企業によるプラスチック問題への取り組みの動向をまとめ、取り組みを推進するための支援策についての提言をまとめました。

スマート農業の促進に関する研究

農業従事者の減少・高齢化等の進行により、労働力不足が深刻化する中、政府は農業において作業の省力化や高品質生産等を実現するため、ロボット、AI、IoTなどのデジタル技術を活用した「スマート農業」を推進しています。本研究では、「スマート農業」の現状と課題を分析し、農業生産現場での活用を促進するための政策提言をまとめました。

「デジタル田園都市国家構想」の研究

～和歌山県における社会課題解決とデジタル化の推進～「デジタル田園都市国家構想」が目指す将来像はどのようなものなのでしょうか。本研究では「田園都市構想」についてイギリスのエベネザー・ハワードの田園都市論、大平正芳元首相の田園都市国家構想から、ランドデザインとしての田園都市国家を再確認しました。各自治体から出ている事業案にどのような特徴があるのか、これらの事業で田園都市構想の理念を実現することができるのかを検討しました。これらの検討を踏まえ、最後に和歌山県の社会課題解決に有用性の高いデジタル化事業について提言をまとめました。

地域公共交通の維持に向けたDXに関する研究

コロナ禍を機に公共交通の利用者が減少しています。特に地方では顕著で、多くの路線が存続の危機に直面しています。本研究では、それらを維持するための一つの方策としてDXの活用が必要であると考え、地方公共交通の維持に資するDX技術についてさまざまな角度から分析し、実装に向けた提言をまとめました。

自治体DX推進に関する研究

令和4年6月、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」が、目指すべきデジタル社会のビジョンとして位置づけられました。ビジョン実現には、住民に身近な行政を担う自治体の役割が極めて重要ですが、民間に比べて自治体のDXが進んでいないという状況にあります。本研究では、県内自治体の現状、課題等を把握し、統計的に整理することで、今後、自治体DXを効果的、効率的に進めるための必要な取組について提言をまとめました。

個人研究(社会・経済等に関する課題をテーマとした自主研究)

サステナビリティ経営を通しての企業と人の活性化

地球環境問題、新型コロナウイルス、人口減少、市場の変化といった不確実性がもたらす脅威の中で、企業が持続的に世の中の要請に応えていくためには、生産性(付加価値/コスト・時間)を高めていかなければならない。その原動力は、そこで働く人々の創造力と言えます。本研究においては、今、企業に求められているサステナビリティ経営を通して、従業員の創造力を育み、組織を活性化させる方策について、事例を整理したうえで、課題を抽出し、より良い方向を探りました。

地球温暖化による農作物への影響

地球温暖化により日本の平均気温偏差は、100年あたり1.24℃の割合で上昇しており、年平均気温は長期的に上昇し、2020年には統計を開始した1898年以降最も高くなりました。また、1時間あたりの降水量が50mmを超える大雨も年々発生回数が増加しており、このような温暖化による現象が今後の農作物栽培に与える影響とその対策について整理しました。

自治体非公認キャラクターによる地域おこしの研究

近年、自治体非公認キャラクターと称し、地域おこしを行うツイッターアカウントを見かけるようになりました。ゆるキャラの歴史から紐解き、非公認キャラクターに至るまでの経緯や非公認キャラクターによる活動を調査し、ツイッターでの反応などから地域おこしへの貢献度を整理しました。

画像生成系AIを用いた「川合小梅」の肖像画作成の研究

江戸末期から昭和初期に生きた「川合小梅」は多くの日記を残しているが、肖像画は存在していません。「小梅日記を楽しむ会」会員の協力を得ながら、画像生成系AIを用いて、川合小梅の肖像画を作成しました。

ワーケーションの可能性

ワーケーションとは、Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語で、テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うことです。企業においても柔軟な働き方のニーズや「新たな働き方」への対応が求められている中で、観光庁の実態調査では、企業の認知度は80%を超えているものの、実施経験者は4%と社会全体に浸透しているとは言えない状況です。ワーケーションによる地域、企業の課題解決の先行事例を調査し、多様な働き方、ウェルビーイングの観点と併せて、ワーケーションの意義、可能性を考察しました。

研究報告・企画提案・広告媒体における伝わるデザインと見せ方について

研究報告、企画提案(プレゼン)、広告媒体(チラシやポスター)等において情報を正確かつスムーズに伝えるためには、情報を整理編集し、デザインすることが必要不可欠となっています。研究成果、企画提案内容、商品やサービスのコンセプト等を効果的に伝え有益な結果が得られるよう、効率よくビジュアルデザインの質を高めるためのスキルやノウハウについて、主に「全体レイアウト」「配色(カラー)」「写真・イラスト」の分野を中心に研究を行いました。

中小企業が環境配慮経営を進めるにあたって必要なこと

近年、民間企業の環境配慮に関する取組みは、サプライチェーンや機関投資家、消費者等様々なセクターから重要視されており、この動きに賛同しない企業は、市場から淘汰されるリスクが高まっています。しかし、中小企業が99%を占める日本の企業の環境配慮型経営に関する動きは、諸外国と比較しても乏しい状況です。そのため、中小企業が環境配慮経営を進めていくための必要事項について県内中小企業の意識調査や先進的取組を実践する中小企業の調査、サステナブルファイナンスの事例分析を通して研究を行いました。

共同研究(和歌山地域経済研究機構共同研究)

「移動革命」を活用した持続可能な和歌山市公共交通体系に関する研究

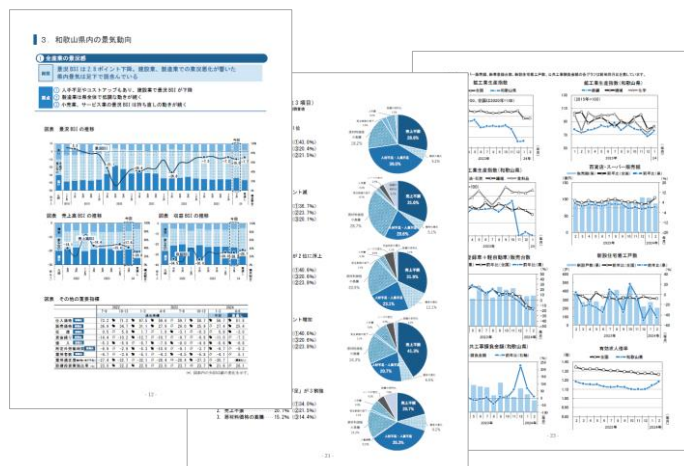
本研究は、2019年度より共同研究として継続的な研究を行っており、今年度は交通に関連する和歌山市の地域課題と、「移動革命」の進展を踏まえつつ、同市の新しい交通まちづくりの理想像を追求し、実現性の高い提言につなげることを研究の目的としました。交通DXに係るデータの研究会や、長野県那須市の総合的なスマートシティにおける複合的なMaaSの研究会に参加し、研究機構の機関紙へ、和歌山市の将来の交通体系をモデルにした「SDGs未来都市における持続可能な交通体系」についての寄稿を行いました。また、路線バスの小型化・増便による利用者の拡大に成功した山形県鶴岡市の調査研究の結果を研究機構にて発表しました。

地方シンクタンク協議会機関誌編集委員会への参加

協議会会員機関への情報提供、会員相互の情報交流、行政及び関係機関への提言等を目的に機関誌を編集しました。特集号「地域から進めるデジタル実装～地域ポテンシャルの発展のために～」を3月末に発行しました(編集委員会委員として参加)。

和歌山県景気動向調査

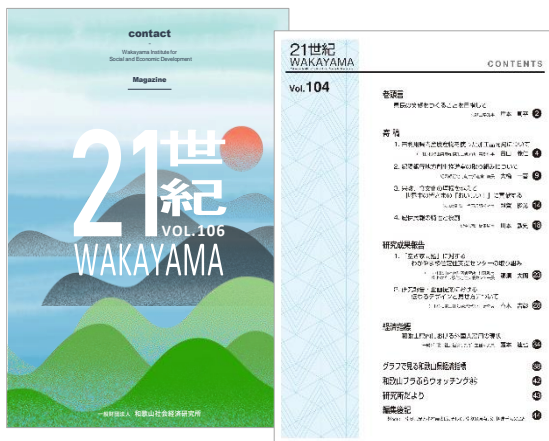
現在の経済環境が和歌山県内の各企業にどのような影響を及ぼしているのか、今後この状況はどのようにになると予想されるのかを考察し、企業経営の参考資料となるよう、アンケート調査を実施しました。調査は県内企業2000社を対象に、年4回実施し、景況感、業績動向、雇用状況に加えて、毎回特集テーマを設定しました。今年度の特集テーマとしては、「賃上げ」「コロナ5類移行の影響」「プラスチックの再資源化・プラスチックごみの削減」「人材確保」「デジタル化」等を取り上げました。



景気動向調査 [冊子]

機関誌「21世紀WAKAYAMA」の発行

地域が抱える様々な社会問題に対する専門家の考察や活動内容の紹介を通じて、課題解決に向けた有益な情報を提供しました。



機関誌「21世紀WAKAYAMA」【冊子】

講演会の開催

昭和56年の設立時から毎年、県内における経済活動等の一助として役立てていただくために、県内の企業、団体や行政機関及び一般の方を対象に講演会を開催しています。今年度はサイエンス作家の竹内 薫氏を講師に招き「AIと共存する5年後の未来～必要な思考のレッスンとは～」をテーマに講演していただきました。

2023年度 一般財団法人 和歌山社会経済研究所 講演会

AIと共存する5年後の未来

～必要な思考のレッスンとは～

講師 サイエンス作家 竹内 薫 氏

1960年 東京都生まれ。
東京大学理学部物理学科卒業。物理学、科学史、東京大学理学部物理学専攻、
でんし学人文学部情報科学科卒業。物理学、理工学と一応専門知識。
物理学科(博士)、人文学部卒業後、ウェブサイトを専攻して文筆家、
物理学科(専攻)専攻科目(物理学)を専攻する。2000年より「500円628回 面白いゲームの作り方」
の文筆家。執筆は、40万部を超えるベストセラーとなる。

物理学、数学、宇宙、AIなどの幅広い分野で執筆活動、
講演会などでテレビ、ラジオ、書籍などでも活躍している。

2016年豊前市の学校に15人の物理教師「YES!イニターナショナル」
代表となる。

日時 2023年10月24日(水) 13:00～14:30 (開場 12:30)

会場 水戸ルグランヴィア和歌山 6階「ルーグラン」
(和歌山市瓦田所 5-16 TEL.073-425-3333 ・JR和歌山駅 徒歩2分)

参加費 無料 定員 180名(先着順・お申込み後、参加費を超過します)

受付期間 一般受付 9月20日(水) 午前9:00～
賛助会員、出講者の方は9月14日より先行受付中。
締切日 10月5日(木) ※定員にのみ決ま、受付終了の順で参加となります。

お申し込み方法

- QRコードからの申し込み。右側のQRコードより申し込みください。
- ホームページ(<http://www.wakayama.jp>)から申し込みいただけます。
- FAKでのお申し込み。半額返金の申し込みをFAK 073-424-5399へご連絡ください。
- 電話でのお申し込み。TEL.073-432-1444で承ります。
※参加費無料でご参加はお断りいたします。

主催 一般財団法人 和歌山社会経済研究所
TEL.073-432-1444 FAX.073-424-5399

主催 一般財団法人 和歌山社会経済研究所
県内における経済活動の一助として、県内の企業、団体、行政機関、一般の方を対象に開催しております。

2023年度講演会【フライヤー】



講演する 竹内 薫 氏

外国人旅行者を含む多様な交流が生まれる 「空き家活用まちづくりプラン」の作成

和歌山県内の海辺に面する市町には、日本ならではの魅力的な景観を残す地域が多くありますが、一方では多くの空き家が放置されています。

当研究所は、令和4年度より、和歌山県から「わかやま移住定住支援センター」の運営を受託し、移住に関するご相談の他、空き家に関するご相談と空き家バンクの運営を行っており、移住者の住まい探しと併せて、空き家の利活用に取り組んでいます。

本事業では、和歌山県と連携し、和歌山市雑賀崎地区と美浜町三尾地区の2つの地域を対象とした「外国人旅行者を含む多様な交流が生まれる空き家活用まちづくりプラン」を作成しました。

事業内容

① 外国人旅行者向けアンケート調査

和歌山大学観光学部協力のもと「高野山」と「本宮大社前」にて外国人旅行者を対象に街頭聞き取り調査を実施しました。外国人旅行者に対しては、日本への旅行の目的、旅行スタイル等の他、モデル事業対象地域に関する知名度や訪問意向を調査しました。



□ 高野山(高野町)



② 外国人モニター調査

外国人留学生等、男女各2名にモデル事業対象地域に滞在いただき、地域の体験プログラムや街歩き体験、地域住民との交流等を通じて意見を聴取し、外国人目線での地域の魅力と課題を整理しました。



□ 和歌山市雑賀崎地区



□ 本宮大社前(田辺市)



□ 美浜町三尾地区



③ 活用可能な空き家調査

モデル事業対象地域の活用可能な空き家を明確化するため、登記情報による物件所有者の特定、物件所有者に対するアンケート調査の他、和歌山県、対象地域の役所・役場、和歌山大学、地域NPO団体、地域住民の方々の協力のもと、延べ6日間にわたる外観調査を行い、空き家マップ及び空き家リストを作成しました。



□ 和歌山市雑賀崎地区(外観調査/住民からの情報収集)



□ 美浜町三尾地区(外観調査/空き家MAP情報整理)

④ まちづくりプラン作成ワークショップ

調査事業に協力いただいた和歌山県、モデル事業対象地域の役所・役場、和歌山大学、地域NPO団体、地域住民の方々を対象にまちづくりプラン作成に向けたワークショップを行いました。ワークショップの実施にあたっては、地域コミュニティの活性化や観光振興に取り組む株式会社エンジョイワークス(本社:神奈川県)をファシリテーターに招聘し、同社の取組実績やノウハウについての勉強会を取り入れるとともに、空き家再生や地域活性化に取り組む有識者を講師に迎え、事例研究やフィールドワークを行いながらプランを検討しました。最終成果としては、利活用可能な空き家を選定し、地域での体験コンテンツと空き家を活用した滞在プラン等、空き家活用まちづくりプランを作成しました。

和歌山市雑賀崎地区	
エリアコンセプト	・万葉集で歌われるほど古くからの景勝地で、ノスタルジックな路地空間が今なお残る漁村の町の「海まら暮らし」が今後も引き継がれる様、空き家・空き地を活かし、多様な交流を創出する。
エリアゾーニング	・中心地を滞在拠点エリアとし、空き家を宿泊施設として活用。
施設整備	・近隣の既存ゲストハウスと相乗的な効果発揮を目指して、家族連れをターゲットとする中長期滞在施設ほか2棟を改修。
滞在プラン	・外国語地域ガイドによる街歩きや、地域文化体験のほか、地元食堂での食事および地元大学生との異文化交流を図るプラン。
空き家活用整備イメージ	<p>【事例】空き家活用整備イメージ</p> <p>1. ターゲット メイン: 外国人観光客 サブ: 地元・近隣の来訪者 滞在客</p> <p>2. 滞在の価値 ・外国人観光客向けの体験施設 ・滞在型カフェ ・季節限定のイベント ・滞在客が楽しめる場所</p> <p>3. 期待される効果 ・滞在型観光客と地元、地域住民の交流を図ることが出来る</p>
施設整備	<p>【事例】滞在プラン</p> <p>Day 1 15:00-17:00 滞在型観光客向け体験施設 17:00-18:00 滞在型カフェ 18:00-19:00 滞在型イベント</p> <p>Day 2 10:00-11:00 滞在型観光客向け体験施設 11:00-12:00 滞在型カフェ 12:00-13:00 滞在型イベント</p> <p>Day 3 10:00-11:00 滞在型観光客向け体験施設 11:00-12:00 滞在型カフェ 12:00-13:00 滞在型イベント</p>

美浜町三尾地区	
エリアコンセプト	・明治時代のカナダ移民から続くツーリズムをベースに、和食の源流である食材が生まれた歴史的・地域的な特性から、和食文化体験等をコンテンツに加え、空き家を活用した多様な交流を創出する。
エリアゾーニング	・比較的建物が密集している店舗誘致ゾーンの空き家を、和食の文化体験施設などとして活用。
施設整備	・和食の文化体験ができる飲食店に加え、ギャラリーを併設。複数棟の空き家を地域住民が参加型で改修。
滞在プラン	・漁業または農業体験施設のほか、和食作り体験をキーに、地域住民との交流を図るプラン。
空き家活用整備イメージ	<p>【事例】空き家活用整備イメージ</p> <p>1. ターゲット メイン: 国内・外国人の観光客 サブ: 地元・近隣の来訪者 滞在客</p> <p>2. 滞在の価値 ・和食文化体験 ・ゲストハウス ・多目的カフェ ・シェアオフィス ・貸し部屋、ゲストハウス</p> <p>3. 期待される効果 ・地域観光客の滞在体験が向上する ・地域住民との交流が促進される</p>
施設整備	<p>【事例】滞在プラン</p> <p>Day 1 10:00-11:00 滞在型観光客向け体験施設 11:00-12:00 滞在型カフェ 12:00-13:00 滞在型イベント</p> <p>Day 2 10:00-11:00 滞在型観光客向け体験施設 11:00-12:00 滞在型カフェ 12:00-13:00 滞在型イベント</p> <p>Day 3 10:00-11:00 滞在型観光客向け体験施設 11:00-12:00 滞在型カフェ 12:00-13:00 滞在型イベント</p>

2. 受託事業

各種調査・分析

令和5年度二地域居住等推進に関する調査業務

[受託先：和歌山県]

都市住民の地方への関心が高まる中で、都市と地方の二地域に拠点を構える二地域居住者が増加しています。和歌山県は二地域居住推進に向けた施策拡充を検討しており、本業務では、施策に生かせるような情報収集を目的として、県内の二地域居住者(15名)に対するヒアリング調査と、二地域居住者の誘致施策を展開する先進自治体調査を行い、調査報告書を作成しました。

令和5年度和歌山県医療機能調査及び保健医療に関する県民意識調査業務

[受託先：和歌山県]

県内医療機関の実態や保健医療に関する県民意識、要望を調査し、「第八次和歌山県保健医療計画」策定ならびに今後の保健医療行政推進の参考資料となるよう、結果報告書を作成しました。

和歌山市景況動向調査業務

[受託先：和歌山市]

和歌山市が産業政策を検討・評価する際の基礎資料として、市内企業を対象に、その景況感、業績動向、雇用状況、経営課題についてアンケート調査を実施し、分析結果報告書を作成しました。

串本町議会議員定数に関する町民アンケート調査業務

[受託先：串本町]

串本町議会の活性化を目指し、今後の参考とするため、議員定数等に関する町民意向を把握するアンケート調査を実施し、アンケートデータの入力・分析・報告書の作成を行い、特別委員会にて報告を行いました。

「令和5年度「くどやま芸術祭2023」経済効果調査委託業務

[受託先：九度山町まちなか活性化協議会]

「くどやま芸術祭2023」における経済的・その他の効果を明らかにし、今後の地域振興施策立案に資する情報を提供しました。



WEBページ誘導【フライヤー】



調査報告書【表紙】

「観光客動態調査分析業務

[受託先：一般社団法人 高野山麓ツーリズムビューロー]

橋本市周辺を訪れている観光客の観光動向を把握・分析し、その属性・目的・旅行予算・再訪意向度・リピーター率・満足度を知ること、当地の観光地としての特性・魅力・市場的位置を明らかにするとともに、よりターゲットを絞った効果的なプロモーション活動や魅力的な旅行商品の開発等に役立つようサポートを行いました。

「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」調査業務

[受託先：ルネッサンスキャピタル 株式会社]

和歌山県内企業に対して継続実施しているアンケート調査結果を分析し、和歌山県内の経済状況・中小企業の状況等について、産業別景況、地域別景況、全国との景況比較、経営上の課題、自社の業況、国内経済と県内経済について考察し、研究報告書を作成しました。

「oomiya presents TGC WAKAYAMA2024」開催に伴う経済波及効果測定業務

[受託先：株式会社 W TOKYO]

TGC(東京ガールズコレクション)は、地方創生プロジェクトとして各地で開催され、開催地のイメージアップや地域経済の活性化をもたらしています。これらに鑑み、令和6年2月3日(土)に開催された「TGC和歌山2024」における和歌山市域内への経済波及効果を計測しました。

各種計画策定支援

健康海南21(第3次健康増進計画)策定支援業務

[受託先：海南市]

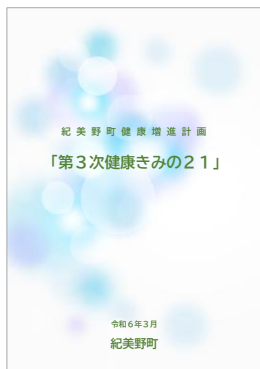
健康増進法に基づき、現在の健康課題の抽出を行った上で、海南市の上位計画となる「海南市総合計画」(および「海南市地域福祉計画」)に即し、食育基本方針を包含した総合的な健康づくりの指針となる計画の策定を支援しました。



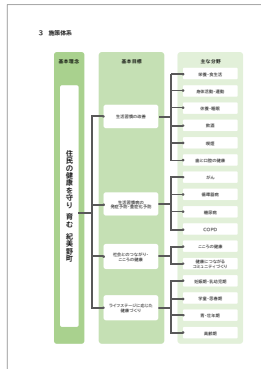
計画冊子【表紙・裏表紙】

第3次健康きみの21(紀美野町健康増進計画)策定業務

[受託先：紀美野町]



計画冊子【表紙】



計画冊子【施策体系図】

健康増進法第8条第2項に基づき、現在の健康課題を分析するとともに、紀美野町の上位計画「紀美野町長期総合計画」、国の計画「健康日本21」及び和歌山県健康増進計画に即して、紀美野町健康増進計画の策定を支援しました。



第3期きみのこどもプラン-紀美野町子ども・子育て支援事業計画-策定支援業務 【令和5年度・6年度の2ヶ年業務】

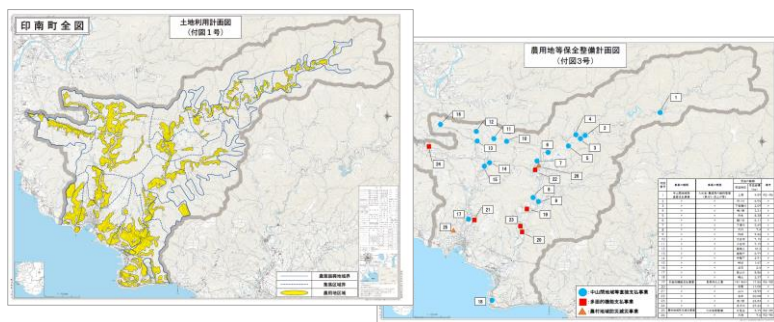
[受託先：紀美野町]

紀美野町における子ども・子育て支援事業計画の改定に向けて、保護者ニーズの調査、現状の課題の整理等、必要となる資料を作成し、子育て支援事業に関する将来的な需要量の推計等を行いました。

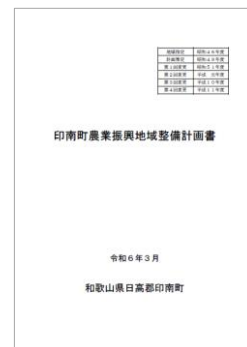
人・農地プラン実質化に関する業務及び印南町農業振興地域整備計画改定に係る支援業務【令和4年度・5年度の2ヶ年業務】

[受託先：印南町]

令和4年度に作成した整備計画基礎資料に基づき、担当課との協議、関係団体等の意見を踏まえ、印南町農業振興地域整備計画の策定を支援しました。



農用地等保全整備計画図



計画書 [表紙]

みなべ町BCP(業務継続計画)訓練・検証支援業務

[受託先：みなべ町]

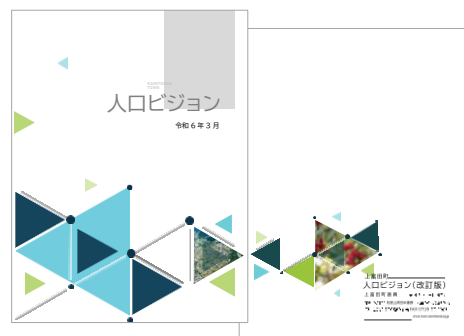
令和4年度に策定したみなべ町BCP(業務継続計画)に基づき、その計画が機能するかどうか、ワークショップ形式で訓練・検証(2回)を実施し、計画のアップデートの支援を行いました。

上富田町人口ビジョン策定支援業務

[受託先：上富田町]

「上富田町人口ビジョン」を改訂するにあたり、人口動態の現状を明らかにするとともに、目指すべき将来人口を設定するため必要となる人口等に関する分析を行いました。

また、町の目指すべき方向性や施策に関して、若手職員を中心にヒアリング等を行い、検討を重ねながら、人口ビジョンの改訂を支援しました。

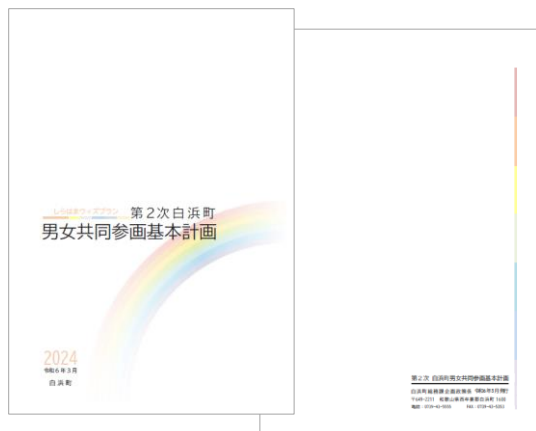


計画冊子 [表紙・裏表紙]

第二次白浜町男女共同参画基本計画策定業務

[受託先：白浜町]

男女共同参画社会基本法に基づく白浜町男女共同参画基本計画(しらはまウィズプラン)の第二次計画策定のため、住民アンケート調査の実施、庁内ワーキング及び男女共同参画推進懇話会の開催支援、基本計画の策定支援などを行いました。



計画冊子 [表紙・裏表紙]

令和5年度総合戦略評価・検証及び実施計画改訂支援業務

[受託先：串本町]

「長期総合計画後期基本計画」に基づく事業の「実施計画(計画期間3年)」の策定支援を行いました。並行して、総合戦略の数値目標、KPIの評価・検証と串本町まち・ひと・しごと創生推進会議開催を支援しました。

令和5年度太地町総合戦略評価・検証支援業務

[受託先：太地町]

「太地町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実施における数値目標・KPI及び事業の評価・検証のための支援を行いました。同時に総合戦略評価・検証会議(外部有識者等により構成)の運営支援を行いました。

その他コンサルティング

移住者インタビュー記事作成および発信業務

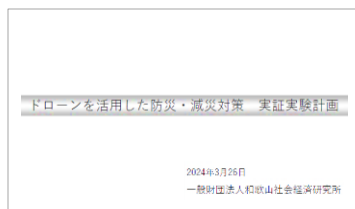
[受託先：和歌山県]

県内企業に就職・転職又は県内で起業し、仕事や趣味を通じて充実した生活を送っている移住者、地域の活性化に取り組んでいる移住者、転職なき移住や二拠点生活など新しい働き方・暮らし方を楽しむ移住者等、魅力的な移住者を取材の上、紹介記事を作成し、和歌山県への移住促進につながると思われる内容を分析し、県移住ポータルサイト等で発信しました。

令和5年度無人航空機を活用した防災・減災対策に係るガイドライン作成業務

[受託先：和歌山県]

和歌山県が市町村の防災力の維持・強化を目的に無人航空機(ドローン)の導入を推し進めるために、県内の現状調査及び全国先進事例調査を実施しました。また有識者会議を複数回開催し、そこでの意見を踏まえ、災害時におけるドローンの利活用、運用に関するガイドラインの作成を支援しました。



ドローンを活用した防災・減災対策 実証実験計画【提案書】

旧古沢小学校周辺整備基本構想策定委託業務

[受託先：九度山町]

九度山町では、長期総合計画の中で、観光振興の主要施策として、旧古沢小学校などの遊休施設を有効活用し、都市部との交流の拠点とすることを掲げています。そこで、活用に向けた第一段階として、旧小学校の敷地内に合宿等宿泊施設・アウトドア施設を整備し、町外からの観光客や地元住民が交流できる拠点とする「整備基本構想」を企画・作成しました。

〔地域活性化事業支援〕

[受託先：株式会社 紀陽銀行]

紀陽銀行が実施している地域活性化事業に関するコンサルティング業務。紀陽銀行の同事業に関する情報収集・提供、助言、指導、その他同事業に付随した紀陽銀行からの依頼に対応しました。

〔経済情報企画編集〕

[受託先：株式会社 紀陽銀行]

紀陽銀行が発行する経済情報誌の企画・編集・作成業務。弊所機関誌「21世紀WAKAYAMA」をベースに、経済指標で見る地域経済情勢や経済トピックスを掲載。2,250部×年3回(5月、9月、1月)発行しました。

〔紀陽サステナブルファイナンスのセカンドオピニオン提供及び検証業務〕

[受託先：株式会社 紀陽銀行]

2022年度に発行された、紀陽銀行の顧客に対するサステナビリティ・リンク・ローンのSPTs(サステナブルな目標)に対するパフォーマンスレベルの検証を行いました。また、紀陽銀行が顧客にサステナブルファイナンスを発行するにあたり、第三者機関としてセカンドオピニオンを提供しました。

わかやま移住定住支援センター運営業務

[受託先：和歌山県]

県外からの移住・定住の推進と、県内空き家（空き家率全国2位）の掘り起こし並びに利活用の促進の窓口として「わかやま移住定住支援センター」を運営しました。

具体的には、移住に関する相談全般、各市町村の担当者と連携した現地案内の他、空き家バンクの運営管理や空き家所有者からの相談対応、空き家情報の掘り起こし等を実施しました。

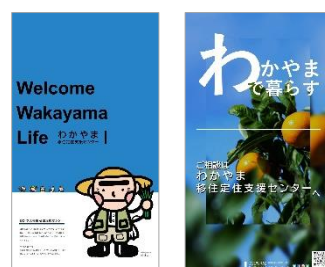


移住支援ポスター・空き家相談ポスター

わかやまLIFE

WAKAYAMA LIFE

ロカリストなんば
デジタルサイネージ
掲示画像



U・Iターンの相談会フライヤー



Ⅲ 2023年度 会議等への出席状況

2023年度 4月～9月

4月10日	公益財団法人わかやま産業振興財団補助金審査会に委員として出席
4月20日	和歌山県国内個別出展支援事業費補助金審査会に委員として出席
4月24日	和歌山地域経済研究機構理事会に副理事長、理事として出席
4月27日	和歌山市地域公共交通会議に委員として出席
4月27日	令和5年度第1回和歌山市公共交通政策推進協議会に委員として出席
5月12日	和歌山県環境影響評価審査会現地視察(仮称:新白馬風力発電事業)に委員として出席
5月16日	和歌山県環境影響評価審査会現地視察(仮称:和歌山印南日高川風力発電事業)に委員として出席
5月23日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
5月29日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
5月31日	和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点副業・兼業トライアル業務委託業者選定委員会に委員として出席
6月2日	「わかやま農業経営塾」事業者選定委員会に委員として出席
6月9日	和歌山県青年リーダー育成支援事業における事業提案書審査委員会に委員として出席
6月12日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
6月13日	和歌山地域経済研究機構理事会に副理事長、理事として出席
7月2日	和歌山県立博物館理事会企画ボランティア実施事業に理事として参加
7月6日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
7月7日	和歌山市民図書館指定管理者選定委員会に委員として出席
7月11日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
7月12日	和歌山県立情報交流センター指定管理者選定委員会に委員として出席
7月19日	和歌山県環境影響評価審査会現地視察(仮称:和歌山県沖洋上風力発電事業)に委員として出席
7月27日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
7月31日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
8月3日	和歌山県環境影響評価審査会に委員として出席
8月7日	和歌山市民図書館運営審議会に委員として出席
9月4日	和歌山県地方創生有識者会議に委員として出席
9月29日	和歌山県人会世界大会記念事業「トランスポーター展」開会式に和歌山県国際交流協会アドバイザーとして参加

2023年度 10月～3月

10月4日	和歌山市地域公共交通会議に委員として出席
10月4日	令和5年度第3回和歌山市公共交通政策推進協議会に委員として出席
10月26日	和歌山城ホール指定管理者選定委員会に委員として出席
10月27日	和歌山市公民館振興大会に和歌山市生涯学習推進協議会委員として出席
10月31日	和歌山市新水道事業ビジョン検討会議に委員として出席
11月8日	地方シンクタンク協議会機関誌編集委員会に編集委員として出席
11月10日	令和5年度第4回和歌山市公共交通政策推進協議会に委員として出席
11月15日	和歌山県公共事業再評価委員会に委員として出席
11月16日	和歌山県データ活用コンペティション1次審査会に委員として出席
11月17日	和歌山市新水道事業ビジョン検討会議に委員として出席
11月22日	和歌山県公共事業再評価委員会に委員として出席
12月6日	令和5年度第5回和歌山市公共交通政策推進協議会に委員として出席
12月19日	和歌山県農業農村振興委員会に委員として出席
12月22日	串本町特別職報酬等審議会(第1回)に委員として出席
1月10日	和歌山県スポーツ賞選考委員会に委員として出席
1月18日	和歌山県国土利用計画審議会に委員として出席
1月26日	国立大学法人和歌山大学紀州経済史文化史研究所保存展示披露式に顕彰関係者として出席
1月30日	和歌山市新水道事業ビジョン水道料金検討会議に委員として出席
1月31日	和歌山市民図書館運営審議会に委員として出席
2月2日	和歌山市地域公共交通会議に委員として出席
2月15日	令和5年度和歌山県農山漁村発イノベーション推進会議に出席
2月15日	和歌山県地球温暖化防止活動推進センター指定に係る選定委員会に委員として出席
2月18日	第9回ビジネスプランコンテスト発表会に審査委員として出席
2月19日	和歌山市新水道事業ビジョン検討会議に委員として出席
2月26日	串本町特別職報酬等審議会(第2回)に委員として出席
3月5日	令和5年度わかやま農業経営塾ベーシック講座経営計画発表会にコメンテーターとして出席
3月18日	令和6年度若年者地域連携事業に係る企画書技術審査委員会に委員として出席
3月19日	令和5年度和歌山県農業農村振興委員会に委員として出席
3月21日	和歌山県企画部所管公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会に委員として出席
3月22日	令和6年度和歌山県総合情報誌「和-nagomi-」企画制作委託業務に係る選定委員会に委員として出席

IV その他トピックス

2023年6月1日

当研究所が運営する「わかやま移住定住支援センター」の機能強化を目的として、株式会社ロカリストと「和歌山県への移住定住促進に関する連携」を開始いたしました。

2023年6月1日

東京医療保健大学の講義[わかやま学]において「わかやまの経済・産業と労働」をテーマに講義を行いました。

2023年6月9日

和歌山県警備業協会の令和5年度通常総会において「和歌山県経済の情勢と展望」をテーマに講演を行いました。

2023年7月19日

和歌山銀行協会7月事務連絡協議会において「和歌山県経済の特徴と足下の情勢」をテーマに講演を行いました。

2023年7月19日

貝塚経済クラブ7月例会において「サステナビリティ経営を通しての企業と人の活性化」をテーマに講演を行いました。

2023年7月21日

全国二地域居住等促進協議会の協力会員となりました。

2023年11月3日～5日、2024年1月13日～14日

美浜町三尾地区を対象に、国土交通省「令和5年度空き家対策モデル事業」に基づく“まちづくりワークショップ”を開催いたしました。

2023年11月24日～26日、2024年1月20日～21日

和歌山市雑賀崎地区を対象に国土交通省「令和5年度空き家対策モデル事業」に基づく“まちづくりワークショップ”を開催いたしました。

2024年3月29日

和歌山県がこどもまんなか社会の実現に向けて取り組む「わかやまこどもまんなか応援団」に登録されました。

2024年4月11日

明治安田生命保険相互会社と産業振興および観光振興、健康づくり推進等を目的に「地方創生に関する連携」を開始いたしました。

2024年5月31日

当研究所が運営する「わかやま移住定住支援センター」の機能強化を目的として、一般社団法人わかやま地域おこし協力隊ネットワークと「和歌山県への移住定住推進に関する連携」を開始いたしました。

V これまで(2010年度～2023年度)の受託事業一覧

各種調査・分析

事業名	受託先	実施年度
和歌山文化情報アーカイブ事業	和歌山県	2010年度
カジノエンターテイメント調査業務	和歌山県	2010年度
学生参画地域づくり体制サポートモデル調査業務	和歌山県	2010年度
紀の国森づくり基金県民意識調査業務	和歌山県	2010年度
看護職員就業状況等実態調査に係る集計業務	和歌山県	2010年度
高齢者パーソナル・モビリティ支援システム事業調査業務	和歌山県	2010年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2010年度
中心地域(ぶらくり丁周辺)来街者調査・事業承継等調査・相談会開催業務	和歌山商工会議所	2010年度
南紀白浜イベントに関する住民アンケート調査業務	白浜町温泉旅館協同組合	2010年度
カジノ・エンターテイメント設置に伴う経済効果の検証	和歌山県	2011年度
和歌山文化情報アーカイブ事業	和歌山県	2011年度
南海本線「和歌山大学前」新駅の利用動向等に関する調査	和歌山県	2011年度
メガソーラー支援可能性調査業務	和歌山県	2011年度
学生参画地域づくり体制サポートモデル調査業務	和歌山県	2011年度
紀の川エリア観光サイクリング推進調査業務	和歌山県	2011年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2011年度
日高港利用促進検討調査	御坊商工会議所	2011年度
訪問理美容利用ニーズ調査業務	和歌山県議会自由民主党県議団	2011年度
学生参画地域づくり体制サポートモデル調査業務	和歌山県	2012年度
湯浅地域の集客力に関する調査業務	和歌山県	2012年度
木質バイオマス発電立地可能性調査	和歌山県	2012年度
文化財(美術工芸品)緊急調査事業	和歌山県	2012年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2012年度
日高港利用促進検討調査	御坊商工会議所	2012年度
訪問理美容利用ニーズ調査業務	和歌山県議会自由民主党県議団	2012年度
文化財(美術工芸品)緊急調査事業	和歌山県	2013年度
都市住民ボランティア援農体制モデル調査	和歌山県	2013年度
平成25年度海洋再生可能エネルギー調査及び検討委員会運営事業	和歌山県	2013年度
MICE誘致に関する基礎調査	和歌山県	2013年度
和歌山県自然的名勝補足調査事業	和歌山県	2013年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2013年度
高野の潜在的観光資源等調査事業	高野町	2013年度
白浜町観光産業経済効果実態調査	白浜町観光産業経済効果調査協議会	2013年度
和歌山市における精神障害者家族実態調査	つばさの会	2013年度

事業名	受託先	実施年度
平成26年度近時における県内企業の経営実態に関する緊急調査業務	和歌山県	2014年度
産業技術基本計画および支援制度に関するアンケート業務	和歌山県	2014年度
鉄道路線乗り入れ研究に伴う鉄道利用需要調査業務	和歌山県	2014年度
紀の国わかやま国体・大会開催による和歌山市への経済波及効果推計業務	和歌山市	2014年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2014年度
太地町民アンケート調査業務	太地町	2014年度
和歌山市における精神障害者家族実態調査	つばさの会	2014年度
貴志川線経済効果調査業務	貴志川線運営協議会	2014年度
観光まちづくり研究～地域活性化への多角的分析と戦略的アプローチ～	ルネッサンスキャピタル株式会社	2014年度
平成27年度県内企業の取引状況・経営実態に関する調査業務委託	和歌山県	2015年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2015年度
和歌山市観光土産品センターの整備に伴う事業調査業務	和歌山市観光協会	2015年度
和歌山市プレミアム商品券効果測定報告書作成業務	和歌山市商業協同組合	2015年度
平成27年度紀の川流域土地改良区の地域概況調査	六箇井土地改良区	2015年度
地域活性化に向けた地産地消の活用策について	東北みらいキャピタル株式会社	2015年度
平成28年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2016年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2016年度
市内製造業の強み・取引状況等に関する調査分析業務	和歌山市	2016年度
外国人観光客動態調査業務	高野町	2016年度
スポーツ合宿誘致による南紀エリアへの経済波及効果推計業務	南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会	2016年度
南紀白浜空港 地元利用のための要因分析調査	南紀白浜空港利用促進実行委員会	2016年度
きのくにPOP(仮称)の商品化に関する市場調査委託業務	かつらぎフルーツ王国振興公社	2016年度
平成28年度紀の川流域土地改良区のアンケート調査	六箇井土地改良区	2016年度
「観光まちづくり」及び「各自治体の地方創生の施策事例研究」	東北みらいキャピタル株式会社	2016年度
平成29年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2017年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2017年度
加太地域などにおける文教施設に対するコンセッション手法の導入調査業務	和歌山市	2017年度
観光客動態調査委託業務	橋本市	2017年度
橋本市農産物産地化等調査委託業務	橋本市	2017年度
「観光まちづくり」及び「6次産業化における付加価値の創造」	東北みらいキャピタル株式会社	2017年度
平成30年度観光列車導入効果調査業務	和歌山県	2018年度
平成30年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2018年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2018年度
宿泊施設誘致による経済波及効果の算出業務	紀の川市	2018年度
「観光まちづくり研究」及び「人口減少社会における小売業の動向」の調査事業	東北みらいキャピタル株式会社	2018年度
観光客動態調査業務	一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー	2018年度
「新規事業可能性調査」にかかる調査および報告書作成業務	紀陽リース・キャピタル株式会社	2018年度

事業名	受託先	実施年度
ねんりんピック紀の国わかやま2019経済波及効果推計等業務	和歌山県	2019年度
令和元年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2019年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2019年度
和歌山市内企業実態調査業務	和歌山市	2019年度
ねんりんピック紀の国わかやま2019開催による和歌山市への経済波及効果推計業務	和歌山市	2019年度
市民意識調査業務委託	有田市	2019年度
印南町住民アンケート実施支援業務	印南町	2019年度
北山村住民アンケート調査業務	北山村	2019年度
観光客動態調査業務	一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー	2019年度
「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」調査業務	ルネッサンスキャピタル株式会社	2019年度
令和2年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2020年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2020年度
観光客動態調査業務	一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー	2020年度
地域の経済動向調査業務	和歌山商工会議所	2020年度
「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」調査業務	ルネッサンスキャピタル株式会社	2020年度
令和3年度県内データサイエンス人材に係るアンケート調査業務	和歌山県	2021年度
令和3年度中高生の生活実態に関するアンケート調査	和歌山県	2021年度
令和3年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2021年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2021年度
令和3年度上富田町スポーツ関連施設による西牟婁郡域経済波及効果調査業務	上富田町観光協会	2021年度
観光客動態調査業務	一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー	2021年度
「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」調査業務	ルネッサンスキャピタル株式会社	2021年度
和歌山県障害者福祉に関する実態調査業務	和歌山県	2022年度
令和4年度生活習慣に関する調査業務	和歌山県	2022年度
令和4年度県民健康・栄養調査に係る集計分析業務	和歌山県	2022年度
令和4年度県内企業の経営実態調査業務	和歌山県	2022年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2022年度
令和4年度地臨交第2号QRコードを用いた観光客動態調査業務	太地町	2022年度
観光客動態調査及び住民・来訪者向けアンケート分析業務	一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー	2022年度
和歌山市プレミアム付商品券事業における経済的及びその他の効果を分析する業務	株式会社JTB	2022年度
「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」の調査業務	ルネッサンスキャピタル株式会社	2022年度
「oomiya presents TGC和歌山2023」開催に伴う経済波及効果測定業務	株式会社W TOKYO	2022年度
令和5年度二地域居住等推進に関する調査業務	和歌山県	2023年度
令和5年度和歌山県医療機能調査及び保健医療に関する県民意識調査業務	和歌山県	2023年度
和歌山市景況動向調査業務	和歌山市	2023年度
串本町議会議員定数に関する町民アンケート調査業務	串本町	2023年度
令和5年度「くどやま芸術祭2023」経済効果調査委託業務	九度山町まちなか活性化協議会	2023年度
観光客動態調査分析業務	一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー	2023年度
「和歌山県の経済状況、中小企業の状況等」調査業務	ルネッサンスキャピタル株式会社	2023年度
「oomiya presents TGC WAKAYAMA 2024」開催に伴う経済波及効果測定業務	株式会社W TOKYO	2023年度

各種計画策定支援

事業名	受託先	実施年度
地域新エネルギー詳細ビジョン策定事業	紀の川市	2010年度
九度山町長期総合計画策定業務	九度山町	2010年度
湯浅町長期総合計画策定業務	湯浅町	2010年度
太地町長期総合計画後期基本計画策定業務	太地町	2010年度
九度山町長期総合計画策定業務	九度山町	2011年度
湯浅町人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務	湯浅町	2015年度
串本町人口ビジョン及び地方創生総合戦略策定支援業務	串本町	2015年度
串本町空家等対策基本計画策定支援業務	串本町	2015年度
白浜温泉街活性化構想推進計画策定業務	白浜町	2015年度
第2次串本町長期総合計画策定支援業務	串本町	2016年度
平成28年度串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証支援業務	串本町	2016年度
フルーツ王国イノベーション推進計画策定業務	かつらぎ町	2016年度
農産物加工施設整備事業マスタープラン策定業務	かつらぎ町	2016年度
農業団地整備事業マスタープラン策定業務	かつらぎ町	2016年度
未利用木材活用事業マスタープラン策定業務	かつらぎ町	2016年度
第1次串本町実施計画策定支援業務	串本町	2017年度
平成29年度串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証支援業務	串本町	2017年度
平成29年度串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂支援業務	串本町	2017年度
串本町BCP(業務継続計画)策定支援業務	串本町	2017年度
組織基盤強化計画作成事業	六箇井土地改良区	2017年度
かつらぎフルーツ王国振興公社事業計画策定支援委託業務	かつらぎフルーツ王国振興公社	2017年度
平成30年度串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証支援業務	串本町	2018年度
串本町BCP(業務継続計画)訓練・検証支援業務	串本町	2018年度
串本町男女共同参画基本計画策定支援業務	串本町	2018年度
和歌山市文化芸術推進基本計画策定支援業務	和歌山市	2019年度
総合戦略策定支援業務委託	有田町	2019年度
九度山町総合計画策定(調査)委託業務	九度山町	2019年度
串本町男女共同参画基本計画策定支援業務	串本町	2019年度
平成31年度串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証支援業務	串本町	2019年度
第1次実施計画検証及び第2次実施計画策定支援業務	串本町	2019年度
太地町第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務	太地町	2019年度
北山村BCP(業務継続計画)策定支援業務	北山村	2019年度
九度山町総合計画策定委託業務	九度山町	2020年度
印南町第6次長期総合計画策定支援業務	印南町	2020年度
印南町第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務	印南町	2020年度
串本町第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務	串本町	2020年度
第2次串本町長期総合計画後期基本計画策定支援業務	串本町	2020年度
第2次串本町空家等対策基本計画策定支援業務	串本町	2020年度
令和2年度古座川町BCP(業務継続計画)策定支援業務	古座川町	2020年度
第5次太地町長期総合計画後期基本計画策定支援業務	太地町	2020年度
令和3年度由良町男女共同参画計画策定支援業務	由良町	2021年度
令和3年度古座川町BCP(業務継続計画)訓練・検証支援業務	古座川町	2021年度
第6次田辺周辺広域市町村圏計画策定支援業務	田辺周辺広域市町村圏組合	2021年度
令和4年度総合戦略評価・検証及び実施計画改訂支援業務	串本町	2022年度
令和4年度上富田町一般廃棄物処理基本計画策定業務	上富田町	2022年度
みなべ町BCP(業務継続計画)策定支援業務	みなべ町	2022年度
人・農地プラン実質化に関する業務及び印南町農業振興地域整備計画改定に係る支援業務	印南町	2022年度
健康海南21(第3次健康増進計画)策定支援業務	海南市	2023年度
第3次健康きみの21(紀美野町健康増進計画)策定業務	紀美野町	2023年度
第3期きみのこどもプラン-紀美野町子ども・子育て支援事業計画-策定支援業務	紀美野町	2023年度
人・農地プラン実質化に関する業務及び印南町農業振興地域整備計画改定に係る支援業務	印南町	2023年度
みなべ町BCP(業務継続計画)訓練・検証支援業務	みなべ町	2023年度
上富田町人口ビジョン策定支援業務	上富田町	2023年度
第二次白浜町男女共同参画基本計画策定業務	白浜町	2023年度
令和5年度総合戦略評価・検証及び実施計画改訂支援業務	串本町	2023年度
令和5年度太地町総合戦略評価・検証支援業務	太地町	2023年度

その他コンサルティング

事業名	受託先	実施年度
わかやま移住・交流促進プラットフォーム事業	和歌山県	2010年度
移住推進空き家活用事業	和歌山県	2010年度
わかやま移住・交流促進プラットフォーム事業	和歌山県	2011年度
移住推進空き家活用事業	和歌山県	2011年度
わかやま移住・交流促進プラットフォーム事業	和歌山県	2012年度
移住推進空き家活用事業	和歌山県	2012年度
下津町地域活性化事業に関するコンサルティング業務	下津町商工会	2012年度
わかやま移住・交流促進プラットフォーム事業	和歌山県	2013年度
移住推進空き家活用事業	和歌山県	2013年度
下津町地域活性化事業に関するコンサルティング業務	下津町商工会	2013年度
平成26年度移住・交流促進事業	和歌山県	2014年度
都市住民ボランティア援農体制モデル事業	和歌山県	2014年度
平成26年度和歌山県海洋再生可能エネルギーシンポジウム運営業務	和歌山県	2014年度
海南市の文化遺産を活かした地域活性化事業に関するコンサルティング業務	海南市文化遺産活用実行委員会	2014年度
下津町の地域活性化に関するコンサルティング業務	下津町商工会	2014年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2014年度
平成27年度移住・交流促進事業	和歌山県	2015年度
和歌山県中山間ふるさと・水と土保全対策事業(都市住民ボランティア援農体制モデル事業)	和歌山県	2015年度
観光プラットフォーム構築事業委託業務	橋本市	2015年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2015年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2015年度
和歌山県RESAS普及促進業務	和歌山県	2016年度
和歌山県中山間ふるさと・水と土保全対策事業(都市住民ボランティア援農体制モデル事業)	和歌山県	2016年度
平成28年度観光プラットフォーム構築事業委託業務	橋本市	2016年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2016年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2016年度
和歌山県中山間ふるさと・水と土保全対策事業(都市住民ボランティア援農体制モデル事業)	和歌山県	2017年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2017年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2017年度
都市住民ボランティア援農体制モデル事業	和歌山県	2018年度
橋本市農産物産地化支援業務	橋本市	2018年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2018年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2018年度
都市住民ボランティア援農体制モデル事業	和歌山県	2019年度
橋本市農産物産地化支援委託業務	橋本市	2019年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2019年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2019年度
都市住民ボランティア援農体制モデル事業	和歌山県	2020年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2020年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2020年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2021年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2021年度
わかやま移住定住支援センター運営業務	和歌山県	2022年度
「印南四王子」謎解き周遊ツアーの企画支援業務	印南町観光協会	2022年度
SDGs経営導入サポート業務	株式会社クロシオ	2022年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2022年度
経済情報誌企画・編集業務	株式会社紀陽銀行	2022年度
紀陽サステナブルファイナンスのセカンドオピニオン提供及び検証業務	株式会社紀陽銀行	2022年度
わかやま移住定住支援センター運営業務	和歌山県	2023年度
移住者インタビュー記事作成および発信業務	和歌山県	2023年度
令和5年度無人航空機を活用した防災・減災対策に係るガイドライン作成業務	和歌山県	2023年度
旧古沢小学校周辺整備基本構想策定委託業務	九度山町	2023年度
地域活性化事業支援	株式会社紀陽銀行	2023年度
経済情報誌企画編集	株式会社紀陽銀行	2023年度
紀陽サステナブルファイナンスのセカンドオピニオン提供及び検証業務	株式会社紀陽銀行	2023年度

VI 研究スタッフ等 紹介

常勤役員

役職	氏名	
副理事長	中越 典秀	紀陽銀行出身。同行では執行役員経営企画部長兼関連事業室長等を歴任。
専務理事	谷口 恵美	和歌山県庁出身。和歌山県消費生活センター所長等を歴任。
常務理事・事務局長	増田 浩	紀陽銀行出身。同行では市場営業部長、経営企画部副部长等を歴任。

研究部

役職	氏名	
総括研究部長	塩路 慎一	紀陽銀行より出向。同行では中もず支店長、営業企画部長代理等を歴任。行政計画策定に関する支援実績豊富で、コンサルティングの他、受託する全ての業務の企画・監修を担当。
研究部長	岡 広史	花王より出向。同社では製造統括センター部長等を歴任。メーカー勤務の知見を活かし、サステイナブル関連分野を中心に調査・研究、コンサルティング等を担当。
研究部長	仮谷 善朗	和歌山県農業協同組合中央会より出向。同会ではJAグループ農業振興センター部長等を歴任。農業振興に関する知見を活かし、同分野に関する調査・研究、計画策定支援等を担当。
研究部長	林 清仁	和歌山県庁出身(元県参事)。県庁では企画、広報、産業、情報、公共事業、福祉等、幅広い分野で企画立案、事業執行に従事。豊富な行政実務経験を活かし、各種調査分析、計画策定支援等を担当。
研究部長	片家 康裕	和歌山県庁より出向。県庁では災害対策課長として防災・災害対策計画の策定や被災地支援業務に従事。土木技術者としての視点を活かし防災・災害対策に関する調査研究等を担当。
主任研究員	長谷川 強	南海電気鉄道より出向。土木工学、統計学を専門とし、同社では高架橋設計、都市開発業務等を経験。弊所では自身で開発したプログラムを用いた各種データ分析等を担当。
主任研究員	宮本 暢夫	和歌山県庁より出向。県庁では情報政策(ICT活用)、ワーケーション、地域振興、国際交流関連など幅広い分野を経験。行政実務の経験を活かし、各種調査分析、計画策定支援等を担当。
主任研究員	藤本 迪也	帝国データバンク客員研究員、中小企業基盤整備機構地域活性化支援アドバイザー等を経て弊所研究員就任。経済、企業経営、観光分野を中心に調査分析、コンサルティング等を担当。
研究員	春木 吉彰	紀陽銀行より出向。デザインに関する分野を研究テーマとし、弊所が受託する全ての業務における報告書、調査票等のデザイン企画・編集を担当(Illustrator®クリエイター能力認定試験スタンダード資格 保有)。
研究員	松尾 悠佑	紀陽銀行より出向。中小企業金融の実務経験を活かし、サステイナブルファイナンスのセカンドオピニオン提供等、サステイナブル関連分野のコンサルティング等を担当。
主任	吉田 厚子	公表統計データの収集・編集、調査分析に関わるデータ処理等、バックオフィス業務全般を担当。

わかやま移住定住支援センター

役職	氏名	
センター長	塩路 慎一	紀陽銀行より出向。当研究所総括研究部長を兼任。
業務企画部長	那須 大朗	紀陽銀行より出向。同行では営業支援部コンサルティング営業室調査役等を歴任。センター運営に関する企画、移住、空き家等に関する調査等を統括。
センター長代理	馬場 和男	紀陽銀行出身。同行では、由良支店長、勝浦支店長、グループ会社である紀陽興産不動産部長等を歴任。宅建士資格を活かし空き家相談を中心に移住関連全般に関する支援を担当。
支援員	保田 真美	紀陽銀行より出向。同行では主に住宅取得や資産運用の相談業務に従事。移住関連全般に関する支援を担当(宅建士資格保有者)。
支援員	岸本 祐之	紀陽銀行より出向。同行では主に中小企業向け相談業務に従事。現地案内対応を中心に移住相談支援を担当。
業務企画担当	藤本 迪也	当研究所主任研究員。移住関連分野に関する調査等を担当。
業務企画担当	春木 吉彰	紀陽銀行より出向。当研究所研究員。移住促進に関する広報等を担当。
業務企画担当	和田 由紀江	空き家バンクの運営を中心にセンター運営に関する企画業務を担当。

[2024年4月1日現在]

研究委員

[敬称略・五十音順・22名]

氏名	主な役職	研究分野
足立 基浩	国立大学法人和歌山大学副学長	まちづくり
伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科教授	都市地域計画、交通計画
大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部教授	経済原論
大西 徹	紀陽情報システム株式会社 代表取締役副社長	DX関連
金川 めぐみ	国立大学法人和歌山大学経済学部学部長	社会保障法
梶谷 昭治	元(財)和歌山社会経済研究所研究部長	
古賀 庸憲	国立大学法人和歌山大学教育学部教授	動物生態学
崎山 頌一	元(財)和歌山社会経済研究所研究部長	
佐藤 周	元 和歌山大学経済学部教授	地域情報化
高田 朋男	元(一財)和歌山社会経済研究所研究部長	
竹田 茉耶	大阪観光大学観光学部准教授	観光まちづくり、コミュニティ論
谷 奈々	元(財)和歌山社会経済研究所主任研究員	文化振興
辻本 勝久	国立大学法人和歌山大学経済学部教授	交通政策
鳥居 昌之	元(財)和歌山社会経済研究所研究部長	
中島 敦司	国立大学法人和歌山大学システム工学部教授	環境保全学、自然エネルギー
中西 望	元(一財)和歌山社会経済研究所研究部長	
藤永 博	国立大学法人和歌山大学経済学部教授	健康・スポーツ科学
堀内 秀雄	元 和歌山大学理事・副学長	生涯学習、自治体政策
本多 友常	元 摂南大学理工学部教授	建築設計
満田 成紀	国立大学法人和歌山大学学長補佐、戦略情報室長	ソフトウェア工学
山本 健慈	大阪観光大学理事長(元 和歌山大学学長)	
吉村 典久	関西学院大学経営戦略研究科教授	経営学、経営戦略

(*)主な役職=選出母体の役職

[2024年4月1日現在]

Ⅶ 相談窓口のご案内

一般財団法人和歌山社会経済研究所は、調査・分析、計画づくりのサポート等様々な課題に対するご相談を受け付けてしております。

以下の相談窓口までお気軽にお問合せください。

一般財団法人 和歌山社会経済研究所

〒640-8033 和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL: 073(432)1444 FAX: 073(424)5350

✉ : info@wsk.or.jp

塩路 ・ 藤本



www.wsk.or.jp